筒賀拠点施設整備計画 基 本 構 想

(案)

令和5年3月



安芸太田町

目 次

1	本計画について	1
	1 - 1 計画策定の趣旨	1
	1 - 2 筒賀地区について	1
	1-3 検討の流れ	2
2	筒賀地区の現状	3
	2-1 地域の現状、特徴	3
	2-2 拠点整備に対する地域ニーズ	11
3	筒賀拠点を考える上での課題	29
4	基本構想	31
	4-1 将来像、方向性(基本方針)	31
	4-2 立地条件	32
	4-3 機能、使い方	36
	4 - 4 概算事業費	41
5	構想の実現に向けて	42
	5-1 運営方法の検討	42
	5 - 2 事業スケジュール	42
6	資料編	43

Ⅰ 本計画について

|-| 計画策定の趣旨

全国的な少子高齢化及び出生数の低下等による人口減少が進むなか、安芸太田町筒賀地区において も人口減少、少子高齢化、都市部への人口流出により、健全な地域社会の活動維持が困難な状況にな ってきている。

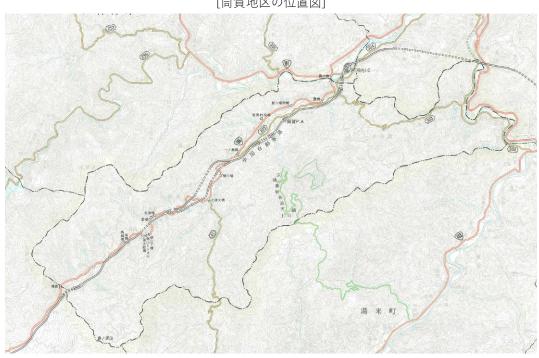
一方で、筒賀支所の周辺には、図書館筒賀分室や社会福祉協議会本庁などの公共施設が立地してい るが、老朽化に伴う公共施設の更新及び適正化が必要になっている。

そのような状況の中で、地域住民の生活を維持するための拠点整備に向け、必要な公共施設等につ いて何が求められるか住民ニーズを踏まえつつ、効果的・効率的な公共事業の方向性を検討していく 必要がある。

そのため、拠点整備を推進するための地域に必要な施設等の検討を行い、「筒賀拠点施設整備基本構 想」として取りまとめることを目的とする。

|-2 筒賀地区について

筒賀地区は、本町の南に位置しており、大字上筒賀、中筒賀から構成される地区である。



[筒賀地区の位置図]

I-3 検討の流れ

基本構想の検討にあたっては、筒賀地区のまちづくりの方向性、地区の現状・課題、地域住民の意向等を踏まえ、筒賀地区において、必要なまちづくりの方向性を明らかにする。

これらを踏まえて、拠点として望ましい立地や、住民等から望まれている機能等を整理した上で、 拠点施設のあり方や整備の方向性を整理し、筒賀拠点施設整備基本構想としてとりまとめを行う。

[基本計画検討フロー]

	基本計画快記/ロー] 					
令和	(6月29日) 自治振興会長等と意見交換会					
3						
令和3年度	(9月5日) アンケート調査					
$\widehat{\Xi}$						
(ニーズや意向の整理)	ワークショップ(全 4 回) (10 月 4 日) 第 1 回 テーマ:「地域課題」、「拠点でしたいこと」 (11 月 18 日) 第 2 回 テーマ:「生活環境」、「移住定住」、「官民連携」 (12 月 21 日) 第 3 回 テーマ:「人・交流・生きがい」、「施設の環境」 (R4 年 2 月 2 日)第 4 回 テーマ:「施設の運営方法」、「施設の利用料」					
	(8月 19 日) 第 1 回策定委員会 主な議事:委員紹介、これまでの意見について 方					
	向性					
全	(9月28日) 第2回策定委員会 主な議事:課題と方向性、機能について 等の					
令 和 4 年 度	(9月28日) 第2回策定委員会 主な議事:課題と方向性、機能について 等の確 (10月27日) 第3回策定委員会 主な議事:立地条件、機能の面積、費用等について 認 認 (10月27日) 第3回策定委員会 (10月27日) 第3回转定委員会 (10月27日) 第3回转定 (10月27日) 第3回转行 (10月27日) 第3回转行 (10月27日) 第3回转行 (10月27日)					
度						
分	(11月26日) 第1回 意見交換会					
(方向性・構想	(12月20日) 第4回策定委員会 主な議事:各機能のイメージ、運営等について 容のの で (R5年1月25日) 第5回策定委員会 主な議事:機能の使い方、基本構想の構成につ 認					
構相	一					
	(R5年1月25日) 第5回策定委員会 主な議事:機能の使い方、基本構想の構成につ "" " " " " " " " " " " " " " " " " "					
とりまとめ)	(2月26日) 第2回 意見交換会					
め	(3月28日) 第6回策定委員会 主な議事:基本構想の素案について					
	基本構想の策定					

2 筒賀地区の現状

2-1 地域の現状、特徴

本計画に係る上位関連計画及び地区の現況などを整理する。

(1) 上位関連計画

① 全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」



全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」取組事例:広島県 安芸太田町

R4.4月時点



② 第二次安芸太田町長期総合計画【後期基本計画】

■後期基本計画の体系図

人口維持に関する取組みを重点的に進める『リーディング施策』を設定し、分野別施策を横 断的・統合的に実施することで、まちづくりの基本方針の達成を効果的に進めていきます。

第二次安芸太田町長期総合計画【後期基本計画】の体系図

めざす将来像

豊かさあふれ つながりひろがる 安芸太田

~ほどほど便利 とびきり幸せ 笑顔かがやく里山のまち~

後期計画目標人口 令和6年

5,200人

まちづくり酸略がもたらす成果

人口の維持・獲得

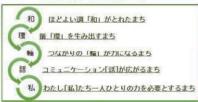
ヒト・モノ・カネの町内循環の拡大 雇用機会の拡大

子育で・次世代育成環境の向上

安心して暮らし続けられる住環境の確保

コミュニティ活力の維持・増大

安芸太田町の「わ」づくり



リーディング施策

定住促進と人材確保・育成によるまちづく り基盤の強化 (38ページ)

行動 町の資源を活用し関係人口につながる ファンを増やします

①町の特性を活かした魅力の統合 ②町の魅力を内と外につなげる仕組みの構築

【施策2】

維持に関する取組みを重

点的

都市部等との'商い'の活発化と町内産 業間連携の推進 (41ページ)

地域資源を活用した「儲ける地域」の 創生をめざします

①「地域商社あきおおた」と道の駅来夢とごうちを中心にした地域経済循環の活性化 ②インバウンド推進体制の構築

各世代にとっての暮らしやすさの向上 (43ページ)

行動 方針 育てあい 助けあう 安芸太田 ≪愛のある小さな"わ"≫づくり

①「ごちゃまぜ」による地域共生社会の実現 ②若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかな

コミュニティの活力向上 (46ページ)

行動 互いに支えあい、誰もが安心して暮らせる コミュニティづくりを進めます

①誰もが安心して暮らせるコミュニティづくりの

Society 人材 SDG s 5.0 育成

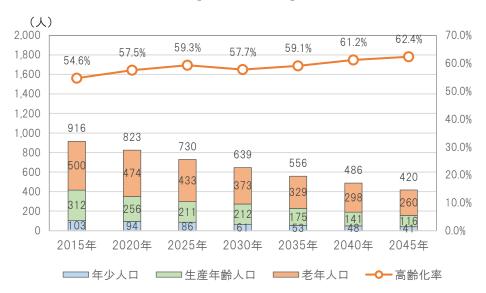
(2) 現況

① 人口及び世帯の状況

推計では、上筒賀と中筒賀の合計の人口は 2045 年において 420 人、高齢化率は 62.4%となると推計されており、現状よりもさらに少子高齢化が進行することが予測されている。

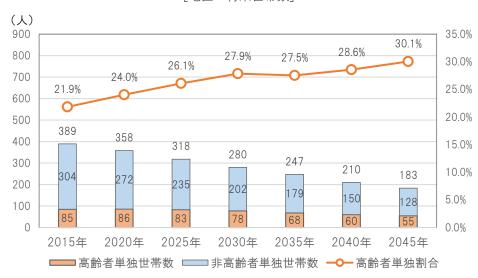
また、2045 年においては、人口、世帯数ともに 2015 年から約半分程度減少することで、各施設機能の存続のほか、地域コミュニティの維持が難しくなることが懸念される。

[地区の将来人口]



出典:国土交通省「将来人口・世帯予測ツール」(社人研推計により補正)

「地区の将来世帯数]



出典:国土交通省「将来人口・世帯予測ツール」(社人研推計により補正)

② 主要施設の立地状況

筒賀地区内に立地している主要施設を以下で整理する。

		筒賀支所+ 情報管理棟	筒賀ふれあいプラザ	筒賀福祉センター	筒賀高齢者生活福祉 センター ひまわり
用途		行政系施設:	安芸太田町図書館筒	安芸太田町社協·	老人福施設、
71172		庁舎等	賀分室·集会所	広域避難所	筒賀温泉
位置		大字中筒賀1693 -1	大字中筒賀1737-1 他	大字中筒賀字市沖 2802-5 他 1 筆	中筒賀 1634-3 他
		 筒賀支所:1936年	1991 年	1980 年	1994 年
竣工		情報管理棟:1997年	1001	1000	1996年
敷地面積		1,131.44 m²	333.13 m²	1,129 m²	1,954 m²
郑地臣	引惧	+駐車場 244.23 m²		+駐車場 2,447 ㎡	+駐車場 1,021 ㎡
		筒賀支所 :	440.00 m²	1091.54 m²	1221 m²
延床面	面積	940.40 m ²			29.18
7—711		情報管理棟: 199.13 ㎡			
		筒賀支所:	木造2階	鉄筋コンクリート2階	鉄筋コンクリート造 2
施設	構造・	木造2階	八進之阳		階建て
規模	階数	情報管理棟:			
		鉄筋コンクリート2階			
庁		倉庫(1931)	_	車庫(1991) 108 m²	福祉施設
舎	付属	96.32 m²			
まれ	機能	車庫(1970) 257 ㎡			
庁舎内、敷地内の付属			車	車	車
内の	交通·	半 バス、タクシー	ー ド バス、タクシー	ー ド バス、タクシー	ー バス、タクシー
付属	アクセス				
)	67				•
外観					



③ 町内交通の状況

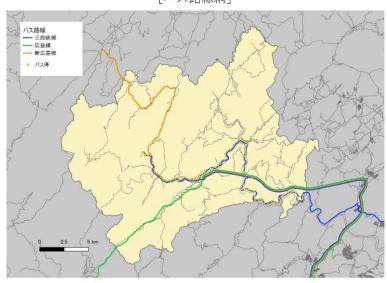
(民間路線バス)

広島電鉄株式会社、石見交通株式会社により、国道や中国自動車道といった幹線道路を経由する三 段峡線及び新広益線・広益線を運行している。

[運行回数(令和4年10月1日時点)※平日の運行頻度]

運行事業者	路線名	運行経路	平日運行便数 ※便=片道
	三段峡線(高速便)	三段峡ー加計BC-広島バスセンター	6便
広島電鉄	三段峡線(在来線)	三段峡ー広島バスセンター	14便
	三段峡線(可部線代替)	三段峡一可部駅前	3便
工目去语	新広益線	益田駅前一広島駅新幹線口	4便
石見交通	広益線	石見交通本社一広島駅新幹線口	12便

[バス路線網]



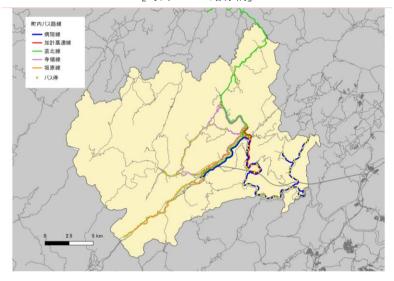
(町内バス)

町内バスは、加計交通株式会社、三段峡交通株式会社、有限会社総合企画により 5 路線運航している。

「運行頻度(令和4年10月時点)※平日の運行頻度]

運行事業者	路線名	運行経路	平日運行便数 ※便=片道
	病院線(船場経由)	昌原一船場一戸河内IC	2便
加計交通	病院線	戸河内IC一昌原	1便
	加計高速線	川・森・文化交流センターー加計高速	6便
総合企画	芸北線	戸河内IC一上荒神原	5便
松口正岡	五七秋	戸河内IC一芸北支所	1便
	寺領線	安芸太田町役場-寺領-加計ショッピング	2便
	寸限隊	安芸太田町役場ー安芸太田病院-加計ショッピング	2便
一机喷大锅	寺領線(冬季ダイヤ)	安芸太田町役場ー温井ー加計ショッピング	2便
三段峡交通	(12月中旬~3月中旬)	安芸太田町役場ー安芸太田病院ー加計ショッピング	2便
	坂原線(上殿経由)	坂原上の橋-加計ショッピング	3便
	坂原線(バイパス経由)	坂原上の橋-加計ショッピング	2便

[町内バスの路線網]



(あなたく)

あなたくは、予約(30分前まで電話予約が可能)に応じてドア・トゥ・ドアで運行する乗合型デマンドタクシーである。土・日・祝日・年末年始を除く月~金曜に運行しており、ダイヤが決められている。

[あなたくの運行頻度]

路線名	行先(方面)	平日運行便数 ※便=片道	運行時間	運行日
あなたく井仁・東区	安芸太田病院方面	4 便	7:40~17:05	月~金
	東区方面	4 便	11:50~18:25	月~金
あなたく坂原	安芸太田病院方面	4 便	9:10~15:10	月~金
	坂原方面	4 便	8:30~14:40	月~金

[あなたくの時刻表]

	井仁・東区線(加計交通)							
	吉ヶ瀬	ごみヶ瀬	井仁	小山	筒賀支所	戸河内IC	安芸太田病院	加計市街
	7:40	7:45	7:55	8:00	8:05	8:10	8:15	
往路	9:30	9:35	9:45	9:50	9:55	10:00	10:05	10:15
	14:30	14:35	14:45	14:50	14:55	15:00	15:05	
	16:30	16:35	16:45	16:50	16:55	17:00	17:05	
	加計市街	安芸太田病院	戸河内IC	筒賀支所	小山	井仁	ごみヶ瀬	吉ヶ瀬
	11:50	12:00	12:05	12:10	12:15	12:20	12:30	12:35
復路		13:30	13:35	13:40	13:45	13:50	14:00	14:05
		15:30	15:35	15:40	15:45	15:50	16:00	16:05
		17:50	17:55	18:00	18:05	18:10	18:20	18:25

		- 坎原	系線(さかは	(ら)		
	坂原	小原	筒賀支所	戸河内IC	安芸太田病院	
往路	9:10	9:20	9:30	9:35	9:40	
江昭	11:00	11:10	11:20	11:25	11:30	
	13:30	13:40	13:50	13:55	14:00	
	14:40	14:50	15:00	15:05	15:10	

	安芸太田病院発	戸河内IC	筒賀支所	小原	坂原着
	8:30	8:35	8:40	8:50	9:00
復路	10:20	10:25	10:30	10:40	10:50
	11:50	11:55	12:00	12:10	12:20
	14:10	14:15	14:20	14:30	14:40

(定額タクシー)

定額タクシーは、1 回 700 円で町内のどこでも移動可能なタクシー助成制度である。令和 2 年度に 社会実験を行い、令和 3 年 10 月から本格運行を実施している。令和 4 年 12 月から地域通貨での利用 料金支払いでキャッシュレス決済が可能となっている。

[定額タクシーのサービス内容]

利用料金	700 円/台	利用回数	96 回/年
相乗り	複数名で利用可能		
目的地	● 町外まで利用する際は、町境(町境を目的とする)までを対象とする。		
	● 高速道路を利用する場合は、インター入り口までを対象とする。		
	● 自宅から目的でタクシーを待機させ、自宅に戻る利用はできない		
	目的へのルート上で	、1 か所のみ 10 分以内でる	あれば「寄り道」可能

(タクシー)

タクシー事業者は町内に 3 社 (1営業所) あり、どの地域でもタクシーが利用できる状況である。 町内3社があなたく、定額タクシーを運行している。

(ボランティア輸送)

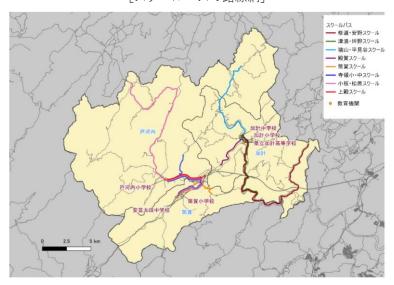
町内(地区で関連性のあるもの)では、以下の福祉輸送・ボランティア輸送サービスが利用可能。

名称	利用対象者				
安芸太田町	本町に在住し会員登録したもので、日常何らかの身体介護を要し、移動が困難な次の				
移送支援事業	各号のいずれかに該当する者				
	● 寝たきりまたは認知症状のため、公共交通機関等の利用が困難な者				
	● 身体障害、精神障害等のため、公共交通機関等の利用が困難者				

(通学に特化した移動手段)

小・中学校の統廃合に伴い、スクールバス・スクールタクシーが小・中学校の通学を担っている。

[スクールバスの路線網]



④ 安芸太田町地域通貨カード「morica」

(地域通貨事業について)

morica は安芸太田町の地域通貨事業として、令和 4 年 11 月 30 日 に安芸太田町に住所を置く方全員に、町が 7,000 円分の電子マネーを 付与して交付したものである。

物価高騰対策として、また地域経済の活性化を通じて、町内事業者の支援も進めている。



(定額タクシーの利用証明書として機能)

令和4年12月1日以降、町内移動であれば700円で利用できる「定額タクシー」の利用証としても機能させることで、これまでの利用証明書の申請手続きが不要となり、利用者ニーズの分析を容易に行うことができ、支払いもキャッシュレス化されている。

(今後の取り組み)

令和 5 年度以降、「医療・福祉」や「防災・減災」等の各行政施策にも順次活用していくこととして おり、これらの DX の積極的な活用を通じて、中山間地域における課題の克服を目指す。

2-2 拠点整備に対する地域ニーズ

(1) 筒賀拠点施設に関するアンケート調査

① 調査概要

筒賀地区の居住者を対象に、地区における生活実態や、生活していく上での課題、地区にあるべき機能などの意向を把握するために実施した。

調査方法	筒賀地域に居住する 20~80 代、中学生を対象にアンケート票を郵送配布。 郵送により回収。
調査期間	令和3年9月5日
配 布 数	48人
回収数	17人(回収率:35.4%)

② アンケート調査結果

(地域の課題、地域の良さ)

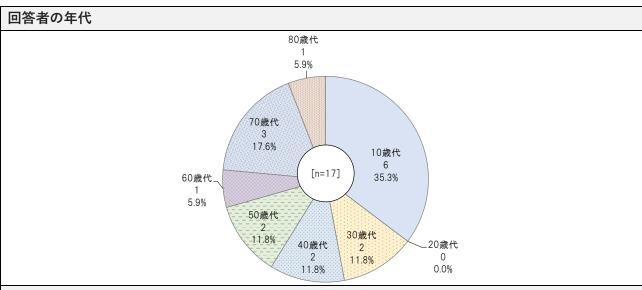
- 『あなたの住む地域の課題や問題点』は、「お店がない」が 11 件と最も多く、次いで、「人口減少、 高齢化・若者不足」が 5 件、「交通面の問題」「空き家・空地、荒地等」が 3 件となっている。
- 『あなたの住む地域の良いところ』は、「自然が豊か」が 11 件と最も多く、次いで「人柄が良い」が 9 件となっている。
- ⇒地域の課題として、お店がないこと、人口減少や高齢化・若者不足が挙げられている一方で、自然 の豊かさや人柄の良さを地域の良いところとして挙げられている。

(拠点施設に欲しい機能)

- 『あなたの利用されている公共施設の課題』は、「建物の老朽化と整備不足」が4件と最も多く、 次いで「バリアフリー化(高齢者対応)」「ひまわりのお風呂」が3件となっている。
- 『あなたが利用したい施設やサービス』は、「サロンや集まれる場所」「健康になれる施設」が3 件と最も多く、次いで「遊べるところ」「勉強できたり、教えてもらえる場所」が2件となっている。
- 『他市町で便利だなと思ったり、本町にあれば良いと思う場所』は、「商業施設や複合施設等」が 7件と最も多く、次いで「図書館にカフェ等が併設」が3件となっている。
- 『筒賀の拠点施設で、あなたの望むソフト面(人との交流等)』は、「気軽に立ち寄れる/くつろ げる/集まれる|が7件と最も多く、次いで「子どもの遊び場、カフェ|が3件となっている。
- 『筒賀の拠点施設で、あなたの望むハード面 (建物や機能等)』は、「安全安心、避難場所」が 8 件と最も多く、次いで「エレベーター」「交流」が 3 件となっている。
- ⇒拠点施設に望まれている機能としては、みんなでサロンや集まれる場所であり、健康になれる施設 であることと、商業や複合施設・カフェ等の機能が盛り込まれていること、さらに気軽に立ち寄れ、 くつろげる雰囲気の施設であることが望まれている。

(運営等)

- 『筒賀の拠点施設で、あなた自身が協力できること』は、「様々なことを教える」「交流(高齢者と子ども)」が3件、「ボランティア」が2件、「看護師」、「人の送迎」「調理」が1件となっている。
- 『筒賀の拠点施設は、どういう運営方法が良いとお考えですか』は「地域との連携」が2件、「民間活用」「時間利用や予約制」が1件となっている。
- ⇒拠点施設において、住民自身ができることとしては、裁縫やスマホの操作等、様々なことを教えれることや子どもから高齢者との交流等が挙げられている。一方で、運営方法に関しては、地域と連携したもの、民活利用等が挙げられている。



1. あなたの住む地域の課題や問題点は何ですか?

お店がない	11		お店がない。
			近くに買い物をできるお店がない。
			お店がないため、お店に行くのに時間がかかる。
			今は車に乗れるから買い物に行けるが、乗れなくなったら店が近く
			にない。
			買い物する場所や憩いの場(カフェなど)が近くにない。
			車でないと生鮮食品が買えないのは不便かなと思います。
			高齢なので、買い物は生協に頼っている。通販も時々。
			休みの日に楽しめる場所がない(カラオケ・屋内施設 バレーボー
			ルなど体を動かせる施設)。
人口減少	5	•	やはり、世代交代の時期と感じることが多くなった。頑張る世代が
高齢化・若者不足			少なく感じます。元気がないかな?
			人口減少と高齢化による地域活動の維持・継続が困難になってくる。
			高齢化が進んでいる。高齢者による神社管理他の人手不足。
			若者が少ない(働く場所が少ない)。
交通面の問題	3	•	公共交通機関の整備。→高齢者などの移動が困難。
		•	公共の交通機関が日に数本しかない。
		•	買い物、通勤など、車がないと生活できない。今の運転ができるうちは良
			いが、運転ができなくなったら、暮らして行けるのか不安である。
空き家・空地	3	•	空き家が増えていること。
荒地等		•	手入れがされず荒れ放題の森林。空き家が目立ちます。
		•	確かに、お店がないのは不便を感じる時もあります。高齢化してい
			く中で、囲りの仕事、猪の出没等近年とてもたくさん出没している
			ようです。休耕地にとても大きな被害です。
病院が少ない	2	•	病院が少ない。(小児科がない)
ごみ問題	2	•	ごみを焼く人が多い。マスクをしない人がいる。
		•	ゴミが落ちている。
その他	1	•	町の財政が厳しく、政策が実行しにくい。

2. あなたの住む地	或の良	いところは何ですか?	
自然が豊か		・自然が沢山有る。	
		・ 子どもたちと四季の色々を感じられるのがいい。	
		・ 自然が多いため、街に住んでいたらできないような貴重	重な体験がで
	11	きる。(山登り、学校行事としてのキャンプなど)	
	11	・自然が豊かで住みやすい。	
		自然が豊か→天然記念物がたくさんある。空気がきれい。	い。景色がき
		れい。観光地がある。	
		・ 夜空の星がきれい	等
人柄が良い		・ 近所の方が温かい。空気が美味しい。	
		・ 近所の方たちがとてもいい方で心安まる。	
		・和気藹々と話が出来る。	
		・ 共助・協力意識が高い。	
	9	・ 人柄がよい。人が親切。	
		・ 地域の人に挨拶をすると、笑顔で挨拶を返してくれる。	
		· 環境がとても良いところです。空気もきれいで、人と人	人とのつなが
		りも良いと思います。	等
その他		・光ネットなどの整備が良い。	
		・第一次産業が盛ん。	
	5	静か	
		・ 日中は暑くても,夜は涼しくなりやすい"	
		・ IC が近くにあり、広島市内へのアクセスがよい。	
3. あなたの利用さ	れてい	る公共施設の課題は何ですか?	
建物の老朽化と	4	・ 建物の老朽化が進んでいる。	
整備不足		・ 必要な修繕、維持継続のための十分な対応がされていない。	
		・時代に合った施設や整備が必要だと思います。	
		・ 外観の小ぎれいさも清掃もですね。	
バリアフリー化	3	あまりバリアフリー化されていない。	
(高齢者対応)		・ 福祉センター2階、月2回行っている。階段はきついが、	まだ大丈夫。
		・ 小中学校にエレベーターがない。(車いすの人や怪我した人	が困る。)
ひまわりのお風呂	3	ひまわりのおふろは、正月に休みになるのがもったいない。	。開けていれ
		ば、お客さんは来られるのに。	
		・ ひまわりのお風呂の故障。	等
その他	6	・ 高齢者の公共施設へのアクセス。	
		・ 福祉センター・ひまわり等、土足で利用できれば良い。	
		・ 福祉センターの料理室をもう少しきれいにリニューアルし	て頂けたら良
		いと思います。	
		・ 子供の数に対して、小学校の数が多い。	
		・利用する人が少ない(図書館など)。	
		・ 印鑑証明が役場でしか取れない。コンビニ交付が使えない。	

4. あなたが利用したい施設やサービスは何ですか?			
サロンや	3	•	サロン
集まれる場所	3	•	気楽にいろんな人が集まれる場所があったらうれしいですね。 等
健康になれる施設		•	トレーニングジムなど、町民が健康になれるような施設
	3	•	子ども達のスポーツの選択肢。
		•	どんな人でも、運動や自分の好きなことをできる施設が欲しい。
遊べるところ		•	友達と遊べるような場所(アスレチックなど)
	2	•	休みの日に真夏・真冬でも子どもたちが集まって遊べる屋内施設が
			あったらいいなあと思う。
勉強できたり、教え	2	•	勉強を教えてもらえる塾のような場所。
てもらえる場所		•	勉強ができるスペース。
その他		•	友人達は、加工場を求めています。
(施設、機能)	5	•	福祉センター
		•	ファーストフード店を利用したい。
その他		•	空き家なども良いかも。
(課題)	3	•	つつがふれあいプラザの活動が不十分でもったいない。
		•	ビジネス誘致してもらえる所ない(小規模、大規模)
5. 他市町で便利だな	と思	った	り、本町にあれば良いと思う場所は何ですか?
商業施設や複合施	7	•	ショッピングモール
設等		•	スターバックスコーヒー。
		•	映画館
		•	お店の中に勉強できる場所がある。
		•	色々な種類のお店がある。
		٠	複合施設(買い物や遊ぶ施設が一体化しているもの)
図書館にカフェ等	3	•	図書館の中にカフェ♡理想です。
が併設		•	暑い時季、図書館(室)で本を読み、昼寝をしたいけど(少し遠い)。
		٠	図書館にカフェや子どものスペースがあったら良い。
キャンプ場	1	•	キャンプ場の充実。グランピング。オートキャンプ。シャワー・トイ
			レの整備。露天風呂のあるキャンプ場。
その他	5	٠	ネット環境が整っていること。
		٠	みんながいらない物を持ち寄り、好きに持って帰れる場所があればよ
			いかも…
		•	小さい規模で分散してあるより、インター周辺・道の駅エリアの規模
			拡大と充実化を最優先した方が良い。
		•	遊具が沢山ある公園
		•	福祉センターの2階のクーラーにしてほしい。夏は暑いです。体操し
			ている時…

6. 筒賀の拠点施設で、	、あ ⁷	たの望むソフト面(人との交流等)は何ですか?	
気軽に立ち寄れる		・ 気軽にくつろげるところが欲しい。	
くつろげる		・どんな人でも気軽に立ち寄れ、気分転換できる場所が欲しい。	
集まれる		・ 友人と気軽に話ができる場所	
		・グループや趣味の会などが、気軽に利用できる小部屋。	
	7	・ 住民が拠点に行ってみようと思う拠点。	
		│ ・ 平日に誰かと集まって裁縫教室など。サークル活動などが気軽	<u>:</u> (:
		出来る場所。	
		│ ・ 交流場所や、ウォーキング出来る所があれば良いですね(歩道)	が
		狭く危ないため)	
子どもの遊び場		・ 青空市、安価なカフェ。	
カフェ	3	・ 子どもが遊ばせられて、大人はお喋りできるところがほしい…	
		・コロナ禍の中での子ども達の遊び場。	
その他		人口が少ないのにコロナ禍で誰も出歩かないし、マスクで話も難しい。	
		・ 車が運転できる間はどこにも行けるが、出来なくなると動けない	,
	2	で不安。	
		· 勉強会。	
7 筒賀の拠占施設で	あっ	~~~~~。 たの望むハード面(建物や機能等)は何ですか?	
安全安心	8	・ 避難場所をはっきりしてほしい。	
避難場所	O	・避難所として、トイレや非常食など備蓄しておくと良いと思う。	
处工关注《勿门门		・ 防災グッズや非常食などを置いて災害のときにも役立てるようにし	. 7
		ほしい。	
		・ 筒賀の自然環境に影響のない環境に優しく、自然災害(地震・土砂	淡
		害など)に強い建物。	
		・エアコンなどの整備が整った避難場所。	
		・ 避難所へのベッド(仮設)の整備。高齢者は足が不自由なため、畳 上に寝ることは難しい事例が発生する。	<u>(0)</u>
		エに後ることは難しい事例が完主する。 ・ 各地域(公民館など)の電気の調達が出来れば、夏・冬ともある程	唐
		の時間は避難ができると思います(発電機・インバーター式など)。	-IX
		・ 街灯や防犯カメラ。	
エレベーター	3	・ エレベーターが欲しい。	
		・ エレベーターはふれあいプラザにあるが、利用する人は少ない。ひ	ま
		わり健康浴場に移すことが出来たら良いけど。	
		・ 私自身はエレベーターは不要と思いますが、お年寄りの方などは便	利
六法	3	ですよね! ・ 冷暖房があり、自由に湯茶が飲めて、座って長時間くつろげる場所。	
交流	``	「P吸店が切り、日田に伽木が臥めて、座つて女时间へ 7つける場所。	
1		・ 子供のイノシシなどの獣を保護! 子供が触れ合える場所	
		子供のイノシシなどの獣を保護し、子供が触れ合える場所。キッチン・トイレ・テーブルフロアが揃っている建物	

8. 筒賀の拠点施設で	、あ	なた自身が協力できることは何ですか?
様々なことを教える	3	・ 裁縫・洋裁を教えることが出来る。
		· スポーツなどのルールを教える。
		スマホなどの使い方を教えることができる。
交流	3	・ 高齢で何も出来ないが、皆を笑顔にすることが出来れば嬉しい。
(高齢者と子ども)		・ 子どもを連れて行ってお話しするとか…
		・ 小さい子供とふれあうこと。
ボランティア	2	・ イベントごとのボランティア活動。
看護師	1	・ 災害時など、看護師の経験を生かし、お手伝いができるかなと思います。1人暮らし、高齢者世帯など訪問して、体調などうかがう。
人の送迎	1	・ 中型免許があるので、人の送迎など。
 . 調理	1	・・軽食の調理。
その他	3	・ 筒賀地区だけを対象にするなら、これ以上新しいものは必要ないの
		では?人口が減少していくので、全町規模・町外も含めて交流を考
		えるべき。
		・ 何でもやってみたいですね。喫茶、子ども自然体験、バードウォッ
		チングなどなど 等
9. 筒賀の拠点施設は	、ど	ういう運営方法が良いとお考えですか?
地域との連携	2	・ ある程度のサービスでも、おたがいが winwin の関係が必須で、
		行政の力ではなく、行政の協力で動き、ある程度の利益もある運
		営ができれば良いと思う。地域事業者の交流を含む事業サービス
		が出来れば、大きいものになるかも!
		・ サロンの拠点はひまわり高齢者福祉センターであるとのこと。運
		営方法は出来る人がする。(一応当番で)
民間活用	1	・ 個人や民間組織・会社などに運営をまかす方が良い。
時間利用や予約制	1	・ 時間利用や予約制を設ける
その他(送迎)	4	・ 送迎付きで何事も計画して欲しい。
		・・送迎バスを使う。
		・ 拠点施設に行くことが難しい人(お年寄りや障害のある人など)
		の送迎。
その他	4	・ 年配者だけではなく,自分達がいつでも使えるような施設が欲しい
		・お年寄りの人と子供がふれあうときもほしい。
		・ 運営方法において理想と現実はかけ離れています。様々な手段を
		協議する必要があると思います。他市町村の運営方法を参考に
		し、淘汰するべきと思います。
		・ 筒賀出身の方々にプロジェクトチームを立ち上げてもらい,筒賀
		の良いところをさらに引き出してもらい、運営についても検討し
		てもらう。
		⇒町外の地域で暮らしていることで筒賀出身の方の郷土に対する思い
		が深まり、独自の目線でアイデアを出してもらえるかもしれない
		(寄付もしてくれるかもしれない)。"

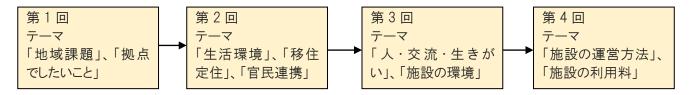
10. 今までの設問以外にあなたが普段思われている点について、ご自由にお書きください。

(主な意見)

- ・ サービスを提供する側だけでなく、提供される住民が理解を示し、「一緒に盛り上げてみよう。」という気持ちがどの事業に対しても希薄化していると感じます。
- ・ 筒賀には素晴らしいところが沢山あると思う。その1つに大銀杏もあるが、11月のシーズンに、あれだけ集客がある時にマルシェ(野菜・ハンドメイド・食べ物など)なんかが出来たら、どちら(地元民も)も嬉しいと思う。
- ・ 去年から今年、コロナ禍で人々の心、世界観まで変わってきている。田舎の自然の中で暮らしている私達は良いが、都会の人達はどんな生活をしているのだろうか?コロナ感染者も30~50代が多いと聞く。その中でオリンピックは始まっている。世界のアスリート達は集い、頑張っている。これから先、どうなるのか。気候の変動も激しい。その中で生き抜くためには?
- ・ 安芸太田町にパン屋が新しくできたらと思っています。拠点施設にあったら、パン好きの方の 利用を増やせないでしょうか!?
- ・ 筒賀地域ほど多彩な施設が既存している地域はないが、それぞれの継続活用、維持手当てが十分されていない。(温泉、木工陶芸、農園、キャンプ場、児童センター、自然環境保全区、ホテル、棚田、公共施設、寺院)
- ・ これ以上、新しい施設を検討することより、現在の施設運営を十分バックアップ、支援、運用、アイデアを広げることが必要。
- ・ コロナ禍がいつまで続くのか不安な中、人とのかかわりは少しずつなくなってきていると感じますね。地域にいる若者で、空き地、農地、山林、販売、営業(PR)などなど、筒賀は宝がたくさんある所だと私は思いますよ。ぜひ、協力させていただければうれしく思います。ありがとうございました。
- ・ 日常、困ったとき、なんでも気軽に相談できる人がほしい。誰に相談したらよいか自分自身で 解決できないときがある。
- ・ 拠点施設ができたとして、高齢者の方々が集まって来れるのか?送り迎えが必要なのかも。
- · 筒賀の拠点施設はどこに作られますか。
- ・ 近場に楽しく友人と遊べる施設が本当にない (各自の家とかに集まることが多くなっている。 自分の家に集まったときに準備が大変。)
- ・ 市内の人と話すと、加計・戸河内は知っているが、筒賀を知らない人が多い。観光資源はたく さんあるのに、活かしきれてないと思う。SNS を活用して、外部へアピールしていく。
- ・ コロナ禍でキャンプが流行っているので、龍頭峡のキャンプ場をキレイに整備したら良いと思う。
- ・ 一年間の体験ツアー①田植え②野菜作り③陶芸体験④薪割り・炭づくり体験⑤川遊び⑥キャンプ⑦稲刈り⑧収穫祭⑨もちつき⑩雪遊び などしてみたらおもしろそう。

(2) ワークショップ

筒賀の新たな拠点に対して、地域住民を交えて意見交換を行うワークショップを全 4 回で実施した。 自治振興会のメンバーをはじめ 23 名程度が各回に参加した。各回の概要と結果については以下の通り である。



①第1回(令和3年10月4日開催)

1回目は、事務局より筒賀拠点に関して説明を行った上で、「**地域課題」と「拠点でしたいこと」**を テーマに 4 グループに分かれて検討を行った。 2 3 名参加。

(検討結果)

\1X	(快討桁朱 <i>)</i>						
	地域課題について		やりたいことについて				
٨	・世代間の交流が少ない ・隣近所との付き合いが少なくなる ・人の集まる所がない ・年齢の差による接点があまりない ・まとまっての行事が減少している ・若い人の参加 ・独身が多い ・若い方が少ない・いない ・高齢化している・高齢者しかいない ・働く場所が少ない	交流	・村民?運動会・グラウンドゴルフ ・イベント 筒賀全体 夏とか秋 ・集まっての行事 少人数でも可 サロン等 ・世代間の交流 ・大きな声を出し、うたをうたう 笑いも一緒に ・居場所づくり ・集まっておしゃべりできる場所 ・コーヒーなど、喫茶スペース ・長所を発表できる場所・機会 ・出張もみほぐしやりたい!!				
若者	・高齢者が多く5年先が末恐ろしい ・若い人が増えてほしい ・小・中学生が少ない 少子化 ・人口が少ない 人が少ない ・若い人が少ない(高齢の方が多い) ・職場が少ない ・若い人が少なく、行事が成り立たない						
子ども	・医療体制が弱い・小児科がない・子どもが安心して遊べる場所が少ない・子どもの遊び場が少ない・子どもの習い事がもっと身近でできたらよい	子ども達へ	・子守りが出来ます ・地域を越えて困りごとを手伝いできたら良い ・子育てしやすい町づくり ・習い事 例:夏休みの水泳教室 ・子どもが文化的な活動のできる場 科学研究・工作・etc ・子どもの可能性を広げられる場を作りたい ・○○教室を開設する『本物』に出会う ・子ども目安箱を置く(学校・役場等へ)				
高齢者	 ・交通の便・手段がない ・買い物できる場所が少ない(特に生鮮食品) ・通院手段が限られる ・高齢者の活躍の場がない ・高齢者から子どもたちへ(つながる場所) ・安芸太田町は何を目指しているか?ハッキリと ・高齢者の見守り、一人暮らし ・一人暮らしの方が多い 一人暮らしが増加 ・シルバー人材の高齢化 	高齢化	・助け合い(困りごと) ・スマホの使い方を教える				

地域課題について			やりたいことについて			
	・子どもの数が少なくなった・若い人が少ない・後継ぎがいない・リーダーが少ない	交流	世代別のワークショップ円卓でのWSで意見交換困りごと相談所を作る気軽に立ち寄れる場づくり			
交流	 ・人が少ない ・後継者(子ども)がいない ・子どもが遊べるところが少ない ・気軽に集まれるところがない ・地域内の人の交流ができない ・地域行事ができにくい ・地域で用事ができない(難しい) 	みんなで	・旅行に行きたい・小旅行・キャンプがしたい・飲み会に行きたい・料理教室・料理して会食			
交通	・交通の便が良くない 交通の便が悪い ・高齢者で不自由な人が目立つ ・車の運転ができない人の移動 ・高齢者の交通の便が良くない ・買い物の交通手段が不便 ・免許が無くなってから ・歩道が悪い(段差のある波スロープ) ・バス便の減少 ・年配の方が車の免許を返上したがらない ・お年寄りの交通手段がない ・人の移動(免許のない方など)	交通手段	・お祭り(イベント等)の送迎 ・カーシェア ・モビリティ(自転車や超小型電気自動車を使う)方 式			
買い物	・買い物が難しい(商店街など) ・お店がない ・買い物をする場所が近くにない ・買い物が不便	買い物	・買い物支援センターを作る ・ インターネットを活用 ・ 乗り合わせで買い物(コストコとか) ・ フリーマーケット ・ パン屋さん(町内にないので) ・ 地域住民も買えるパン屋さん (パンの)業者は?			
空家・空地	・空き家が多い 空き家が増えた ・空き家の土地、草刈り ・空地が多い ・空家・空き農地が増えている	空家・空地	・空き家情報をYouTubeで発信 ・空家をリノベーションして売り出す ・仕事を辞めたら空地でニワトリを飼う ・DIYをやってみたい			
地域	・草刈りなど、周辺整備 ・草刈りの場所が増えた ・休耕田が増えた ・地域の整備の人出が少ない ・お店が少ない ・部落が廃れている ・筒賀の中央部と離れすぎている ・災害の危険大きい	地域	・他地域との交流がしたい・安全な災害に強い地域にしたい			
鳥獣被害	・害獣が出没 ・イノシシや熊が出て被害がある ・田や畑が荒れるのが目立つようになった					
観光	・注目度が低い!(加計・戸河内に比べて) ・食事する所がほしい ・観光地にインパクトがない	観光 P R	・筒賀ならではの情報発信・YouTube・SNSの活用			
行政	・外向けのプランが多い ・若い人にとって魅力ある町づくりをして欲しい ・住民主体でないことが多い ・いい所 PR不足 ・良い施策をPRしていない ・高等学校まで医療費負担がないのが素晴らしい ・まず、住民が住んでよかった町でないことが多い ・行政より町民にお願い事が多すぎる ・お願い事の中に金銭を扱うことがある ・安芸太田町のいいところをもっとPRしてほしい	行政要望	 ・町内各小中学校の給食にもっとパンを出してほしい ・本をゆっくり読みたい ・魅力ある図書館スペース ・小・中・高生(大人も)勉強できる場所 ・スポーツ施設 ・運動(ランニング等)がやりたい ・Free WiーFiスペース 			

② 第 2 回 (令和 3 年 1 1 月 18 日開催)

2回目は、「生活環境」と「移住定住」と「官民連携」をテーマに3グループに分かれて検討を行った。17名参加。

A グループ【生活環境】	a 買い物を円滑にできるためには
2	b 交通の便を確保・改善するためには
	c 拠点施設における買い物や交通の便とは
B グループ【定住・移住】	a 空き家を解消するためには
	b 移住者を増やす・迎え入れるためには
	c 拠点施設に地域住民と移住者が集える場所づくりとは
Cグループ【官民連携】	a 行政が改善すべきこととは
	b 民間活力を活かすためには
	c 拠点施設に求められる施設運営とは

(検討結果)

分野	主な意見
買い物につ	● 通信販売 ネット 紙ベース 電話
いて	● 販売者からの電話、訪問
	● 買い物にドローンの活用
	● 生鮮食品や日用品も販売できる移動販売車を巡回する
	● 町営でも良いのでは?曜日や時間を決める。
	● 近くに買い物ができる施設 移動販売 ● 通販サイト(アプリの利用方法を教える/適正な使い方/ムダ遣い防止/サギにひっかからない)
	● 通販サイト(アプリの利用方法を教える/適止な使い方/ムタ遣い防止/サキにひっかからない) ● そもそも外出が難しい人もいる。
	● 買い物弱者(買い物ツアー)
	● 移動販売車 移動青空市。日程を決めて公民館や広場で行う。→グランドゴルフするときとか。 ·日
	用品や食品など。※採算がとれるかどうか…
	● やはり生活雑貨ありが良いです
	● 利用登録 利用料は? etc.
	● 町内の店 たとえばフレスタへの送迎 週に 1~2回程度
	● 店舗が無いため、定期的に販売車等決めたところへ店を出す
	● 不用品の処分・リサイクル・オークション
交通につい	● 現在のタクシー助成制度を充実させる
て	● あなタク規模の巡回町内バスを町営で定期的に走らせる
	● 公的サービス以外での交通の便が必要(あなタクのバージョンアップ) 運行会社自らがどうしたら
	利用していただけるかを考えさせる ● 巡回バス(定期便)(有料)
	16 6 6 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
	● 拠点施設に限らす、他の施設に移動できること ● タクシー助成券
	● バス停までの移動が困難。※バスは大きい道路しか走っていない。
	● 自宅から店(フレスタ・道の駅など)へ送迎
	● 毎週月曜など時間を決めて運行
	● 利用者がどのくらいいるのかリサーチしてスケジュール・コースを決める
	● バス停及びタクシー乗り場の設置
	● 定期周回バス 例 坂原→役場→戸河内IC→病院→フレスタ
	● レンタル自転車・車(電動) 1 定額での利用 2 保険の加入 3 安全に利用するための講習
	4 公民館や役場など、人の集まるところに設置 課題:ランニングコスト 管理する人
16n - 15 11	● 病院・買い物がセットになっていることが多いので、交通便の時間を調整 病院付近への店舗など
拠点に求め	● 買い物が出来れば良い
ることについ	● 移動販売が来る
て	● ネット注文、紙・電話代行
	● 買い物ツアー
	● 買い物は欲求の一つであり、交通の便は、その方法である。
	● その場所、その時間に行くことで、出会いと会話ができること。(人との出会い・会話)
	● 自分の都合の良いときに欲しい物を求める事ができる場所
	● 送迎
	● 定額タクシー
	● 信用 安心
	● 配達 実物を見て… 決定して
	● 困りごと相談者 コミュニケーションできる場所

使用ができる民家かどうかを外から目線で判断(診断)した物件をバンク化 空き家を解 消するため 古い民家、特に蔵がある ⇒リノベーション 店や宿への改装 には 支援が充実している(行政などの情報が届いていない) 観光、農業、環境等、魅力あるものにして筒賀に来てみたいと思うようにする 地域の協力(住民)(近所の方々) 住んでみたいと思っている人目線で考える 移住者を増 求人広告を出す。同窓会等に情報を提供する。 やす・迎え 働く場所をふやす 入れるには 地域のルールや習慣のちがいを見直す "郷に入れば郷に従う"は理解されない。この地域がなぜ良いか理解してもらう。能動的な参加 魅力のある町づくり 憩いの場 暮らしてみたい場所がある 相談しやすい地域の長(おさ)がいる 地域住民の人柄がよい 地域と移住者の間に世話人がいたらいいと思う 2拠点居住をすすめる 人口関連のイベントをネット上で開催する オンラインセミナーを開催する 交通の便が良い事 拠点施設に 世代間・グループ (子育てとか…) 集まれる 秘密っぽい話ができる 地域住民と 仕事のミスマッチを減らす 実は雇用ニーズはある(正社員希望とか、就労内容・事務職とか) 移住者が 情報収集のために来られる⇒その人にとって有益な情報が提供できる(仕事·子育て·買い物) 集える場所 雰囲気が大事 づくりとは 適度な距離感 (ベタベタしない・放置しない)話しやすい人 仲良しばかりでなく、新しい人も入りやすくする。 気軽に寄れる場所 自然に溢れる魅力的な環境がある 移住目的が分かっていること(自然、教育など) ⇒提案できる人 子供・大人みんなが笑いあえる、楽しめる場所 自身の故郷で暮らしたい 行政が改 文書の確認 善すべきこ 住民との情報共有につとめてもらいたい。地域に積極的に入り込み連携をとってもらいたい 行政として頑張って取り組んでいることを、しっかりアピールする情報発信を 外向きではなく、現在住んでいる人がより豊かに暮らせる施策を 地域おこし協力隊のような方々の協力を<外部の人> 挑戦 常識を超える (筒賀拠点について)来年度の予算化とあったが、5年、10 年単位の長期的な視点を持った計画 づくりを住民と協力して行ってもらいたい。今回のワークショップに役場の方のグループがあったらよ かった。 民間活力を 意欲ある人への支援(具体化するためのアドバイスなど) 活かすため 生涯学習の場 ・カルチャースクール等 <学びの場> には 「拠点作りを急いでも、中途半端になるのでは?このメンバーを中心にして手弁当で「ちょっと集まろ う会」的なことを続けられたら糸口が見えてくるかも。 人材バンク。特技を持つ人を集約する 行政と住民が協力し、運営するのが望ましいと思うが、どのような施設になるのかわからないので具 求められる 体的にはイメージできない。 施設運営 運営に資金は必要。加計・戸河内の町からの資金・運営費の援助はどのようにされているのか。 福祉センターを複合的な施設へ 図書館スペースの拡大 展示(紙・作品) 催事 イベント いつでも話し相手や相談相手がいる。 いろいろな年齢層の人が集まれる テレビで、ご夫婦で、toi(トーイ)というフリースペースを運営されているのを見ました。そこは何もしな くてもよい、人としゃべらなくてもよい、自分が心地よいように過ごせる場所。このような視点(居場 所)で拠点を考えるのもありかもしれません どこに拠点が設けられるにしても、交通手段が必要と思われる ´筒賀の住民のみならず、都市部の人々の活力をも活かす為、拠点は筒賀一のパワースポットだと 思う『大銀杏』の周辺で考えてはどうか。安芸太田中の施設を利用させてもらえないか。 既読の個々の取り組みをつなげていく工夫が必要 高齢化とコロナ禍で集落の行事や活動が困難になってきている。昔からの行事は、きずなを高め、 元気ももらえ、活力の源となる。存続のための取り組みが必要。その拠点となれば。

③ 第3回(令和3年 | 2月2 | 日)

3回目は、**「人・交流・生きがい」と「施設の環境」**をテーマ 2 班 (A、B) に分かれて検討を行った。 参加者は 1 3 名。

Αグループ	a 人や他地域との交流活動を活発にするためには
【人・交流・生きがい】	b 世代間交流(子ども·若者·働き盛り·高齢者)を活発にするためには
人、文加、王さかい	c みんなが集える場所・生きがいを感じられる拠点施設とは
Bグループ	a 拠点施設に必要な機能とは
【拠点施設のハード環境】	b 拠点施設に必要な部屋とは
が無い地域のアイトン系が見	c 拠点施設が求められる立地条件とは

(検討結果)

人や他地域交流について	世代間交流について	みんなが集えるいきがいの施設
 情報が解かる イベントを開催する 情報を発信する フリーマーケット よそものが頑ばれるように (魅力づくり) 年間計画をたてて参加してもらう(例) 	・ 食事会 ・若い人が年配の方を もてなす日 ・ 食事会 ・お年寄りが若い人をも てなす日 ・ 子供達のカフェ(もてなされる側 は、対価を支払う) ・ 保育所・小学校・中学校の参加	地域の何らかの役割を担っているようにするみんなが参加しやすい仕組みと雰囲気づくり拠点施設に仕切りすぎない話しやすい人をおく堅苦しくないシステムや人
 チラシとかSNSで発信 次回のお知らせや、クーポン付きで来やすくする。 植物を育てる(観賞用に) 自由なスペース ギャラリーとか(作品展示) 集会所など、別々の場所でも、ネットでつながる (集まる方法) さそい合う(相乗りタクシー) 交通の便 気軽に寄れる場所お互いに支え合える 	 (ハード面) 調理室を充実させて ランチの提供 料理教室 イベント時の調理 等々に活用してもらう 役場カフェ (レトロな建物)とか free-wifi環境 多目的スペースを作る/利用者にやさしい空間作る 	 (ハード面) ネットカフェのある図書館 図書館には漫画本を置いてほしい ブリースペース(ネット環境整備) 図書コーナー テーブルとイスをいくつ設置(おしゃれなもの) ドリンクコーナー お湯を用意し自由に ミニカフェ
拠点施設に必要な機能とは	拠点施設に必要な部屋とは	拠点施設が求められる立地条件とは
・ 広域避難場所として活用できること(防災用品、自定と) アフリーであること カフェコーナーがあって、簡単な物があること 簡単な食事ができるとの 簡単な食事ができる できるハブのできるのができる グループでの機能を できるハブの関係をおく 特合十(タクシー・バス図書 できるハブの数点施設 ・タクシー、バス停をおく・ 特合十(タクシー・バス図書 できるアブラリー 児童クラブ のな機能 デジラリー 児童クラブ 高料できる 整(当大りと読書できるを とがある人がある人がある人がある人がある人がある人がなどのできるのです。 マクシー・バス という できない できる アーカイブ できない できる という できない できる アーカイブ できる という	・ 図書館機能で・タブレット有り・インターネットが使用できるパソコン室・テレワーク室・軽食ができるカフェ的な部屋・調理室・工作室・スポーツジム的な部屋 フィットネスルーム・子供対象のボルダリング施設がある・子供と遊べる部屋・浴室・シャワールーム・授乳室・レンタルルーム	 地区中央付近で、平地であること 駐車場がある多様な施設 人が集まるために交通拠点になれば 警戒・浸水区域外 危険渓流がないこと 近くにヘリポート等があること 広い駐車場が確保できること 主要道路とのアクセスが容易 医療機関が近い事

	(談話室、イベント会場に使える	
	など)	
•	ワークショップがしやすい部屋	
	(壁にホワイトボード機能 (オン	
	ラインも見据える) TV やカメラ)	
•	屋外イベントなど、広く足元が良	
	い アスファルトなど	
•	薪ストーブ 展示・実演	
•	フィットネスとしての機能	

④ 第4回(令和4年2月2日書面開催)

4 回目はコロナ禍の影響で、書面での実施となった。<u>「施設の運営方法」と「施設の利用料」</u>をテーマにこれまでに参加いただいた方よりご意見を頂いた。

(検討結果)

A グループ【施設の運営方法】			
a 官民共同型となるか?民間運営	b 土日祝日·平日の開館時間など	c 儲ける施設というイメージか?行	
施設となるか?	は?	政サービスの一環という施設か?	
・ 官民共同型	・ 土日祝日を開館・平日休館	・ 民間は儲ける	
・ 公共サービスは官で 民活も	・ 19時まで開いている	・ 行政サービスは無料で利用	
・ 民活・民間運営を併設	· AM 9:00~PM 6:00	・ 拠点の目的や対象者による	
・指定管理施設	· AM10:00~PM 4:00	・ 地域住民を主体とした運営	
・ ノウハウは民間から資金は官	· 平日 11:00~16:00	・ 儲けるコミュニケーション施設	
から	土日祝 10:00~16:00	+行政サービス	
・ 公共サービス併設で	· 10:00~15:00	・ 行政による住民サービス基本 儲ける施設とすれば行き詰る	
・ 民間活力を最大限活用 住民ニーズを掌握したもの	・ 9 時から 17 時まで	・ 多様業種の集まりで共同経営 収益のあるサービスで運営	
・ 住民が積極的に参加できる体制	・ 平日は8時~18時土日は9時~17時	・まずは行政サービス	
・・民間運営施設		・ 採算のとれるサービスは必要	
・ 時間軸を設定し官民共同から 民間運営にシフトする		・ 行政サービスの一環	
・ 民間が望ましいとは思うが 現実的には厳しい		・ある程度は儲ける施設	
		・ 運営するために必要なコスト を収益でまかなう	
	B グループ【拠点のハード環境】		
a 拠点施設に必要な買い物機能と は?	b 拠点施設に必要な遊びの場と は?	c 拠点施設で利用したいサービス とは?	
・ 買い物代行	・ ベビー・育児エリア	・健康維持フィットネス	
・ 生協と連携して生活必需品の 共同注文を行う(将来自立)	・ フリースペース・各種教室	・ 貸しスタジオ(各種教室の開催)	
・ フリーマーケットや雑貨屋	・ 寺子屋スペース(老人⇔子 供)	・ ネットカフェ(パソコン貸出)	
· 日用品·食料品	・ インターネット(Free Wi-Fi)	・災害時の避難所	
・移動販売車の立ち寄り	・ 柵と遊具のある屋外芝生エリ ア	・ 人材マッチング	
・・ドローン等で買物を家に届ける	・ 興味を刺激するロールプレイエ リア・本を読んだり	顔馴染みのスタッフから一つの契約書で、複数のサービスを利用できる	
・ 古物等自宅から出す宝の売 買	・ エリアショップ:ビデオゲーム・ アイスクリーム・バーベキュー	・ 一時的に泊まりで、生活環境を整えるサービス	
		C1E/C0 / C/\	
・ 電話・インターネット・紙ベース での注文受付	・ 先輩方の技術・知恵を体験で きる場	・ 健康を維持する為に必要な設備	
・ 会員登録制で運営者が連絡 を取る・安否確認も取れる	・ お年寄りや若い世代も子供と 遊べるフリーな空間	日替わりのイベントが開催される	
・ 雑貨屋(地域者の出品あり)	・ サロン(高齢者に特定しない)	いつ行っても好きな物が食べられる	

・野菜、果物、加工品、日用品	・ 各種教室(料理及び食事会、 漬物教室など)	・ 自身の作品を発表し売れる場
・野菜等、地元の物、カフェなど	・ 図書室(図書スペース)	・ 入浴施設(有料)・サウナ
・ 生鮮食品を含む、安価(出来 るだけ)な移動販売	・ 屋内体育館、グランド、プール が近くにある	・・トレーニングマシン
・ 飲食物の自販機(うどん等)	・ 幼児遊具	・リハビリ施設
	・ イベントブース(屋外含む)	・ 金融サービス
	・ 全世代が集い、遊べる知育の 場 (木製、VR でも良い)	・接待や会場利用など
	・ 子ども:遊具、砂場、芝生	・コーヒーもセルフでドリップできるサー バー
・買い物は別になくて良い	・ 大人:BBQ や焚火ができる場	・ 学習塾
	・ 子供が走り回れる程度のカーペット敷きの部屋とソファー	・ 送迎サービス
	・ 不要になったおもちゃ、絵本、 マンガ等を持って行ける場所。 持ち帰り・持ち寄りを自由に。	・ 持続可能な物の循環(不要な モノ+欲しいモノのマッチング)
		・ 持続可能な人の循環(何かの 役に立ちたい人+人手が欲し い人のマッチング)
		・ 落書き 伝言用ホワイトボード
a 民間が有料サービスを提供する	b 民間に部屋を貸し出す場合のテ	c 地域住民が利用する場合の無
場合の施設利用の上限額は?(1人あたり)	ナント料の設定額は?(月額あたり)	料と有料の設定区分とは?
・ 平日 1,000 円・ イベント 2,000 円	・ 売上げの10~15%	・ Wi-Fi は無料
・ 小学生まで無料	・ 月額5万円	・飲食物は有料
・ 1時間 300 円~800 円	空きブースをなくすために利用区分をワイドに	· 入浴料300円
・ ランニングコスト等は別として 1000 円以下 →500 円程度	・ 月額3万円	・弱者・幼年者は無料
・ 1日当たり1,000円	・ 1時間500円~1000円程度	· PC 貸出=100~300円
		・ プリンター印刷やコピー代はセ ブンイレブン並みに
		・ 弁当持ち込み可に
		・ 地域活性化に資する内容の 事業の場合は無料
		・サービス提供分は有料
		・ 施設への入場は無料で入浴 や飲食は当然有料
・ 平日 1,000 円・ イベント 2,000 円	・ 売上げの10~15%	・ Wi-Fi は無料
・ 小学生まで無料	・ 月額5万円	・飲食物は有料
・ 1時間 300 円~800 円	空きブースをなくすために利用区分をワイドに	· 入浴料300円

(3) 策定委員会の概要

策定委員会では、施設概要のとりまとめを行うことを役割として、全6回開催し、委員会で出された提案や意見等を具体的なものとするため、事務局が意見を要約し、構想に反映するものとした。

① 各会の概要

回数・開催日	検討テーマ	検討事項
第1回 令和4年	方向性等の確認	・昨年度ワークショップにおける提案のまとめと行政課
8月19日) J I T YT V PREPL	題について共有を図り、意見交換を行った。
第2回 令和4年 9月28日	機能の方向性について	・これまでの方向性や課題、ニーズ等を踏まえ、必要と なる機能と方向性等について検討を行った。
第3回 令和4年 10月27日	敷地と各機能の面積に ついて	・前回の内容を踏まえ、必要となる機能の規模や立地す る敷地等について検討を行った。
第4回 令和4年 12月20日	設備と運営の検討	・意見交換会の議論も踏まえ、設備を整理するととも に、行政と地域の役割分担や、運営主体について検討 を行った。
第5回 令和5年 1月25日	基本構想素案の検討	・これまでの検討内容を踏まえて、拠点施設整備の方向 性と位置づける機能、設備、運営体制、整備スケジュ ール等を整理した基本構想の素案について検討を行っ た。
第6回 令和5年 3月28日	基本構想案の確認	・意見交換会で出された意見等をもとに、整理した基本 構想案の内容について確認を行い、最終案としてまと めた。





(4) 意見交換会の概要

策定委員会での検討内容に対して、地域住民を対象とした意見交換会を開催し、それまでの策定経過や委員会での提案等を事務局及び策定委員より説明したうえで、参加された住民からの感想や意見を伺い、その後の委員会での検討の参考とした。概要については以下のとおりである。

① 第 1 回 (令和 4 年 1 1 月 26 日開催)

参加者 12 名

(主な検討内容)

- ・策定委員会における検討状況について(報告)
- ・意見交換、質疑応答
 - ・施設の立地条件や方向性について
 - ・施設の機能・設備について
 - ・施設の運営や使い方について





② 第 2 回 (令和 5 年 2 月 26 日開催)

参加者 23 名

(主な検討内容)

- ・策定委員会における検討状況及び基本構想の案について
- · 意見交換、質疑応答





3 筒賀拠点を考える上での課題

■全世代・全員活躍型『生涯活躍のまち』での方向性

ジャンル	製治雌空 主涯治雄のよう』での方 取組の方向性	具体的な取組内容
ンドンル	P.1. 10101	○安芸太田暮らし移住アドバイザー
	〇サテラ小オフィスへの企業誘致	
10:44	→新たな人の流れ・雇用を創出	設置
人の流れ コミュニティ	○住民向け総合相談·多世代交流 推進·関係人口案内を隣接施設	〇お試し住宅の運営
121-71	推進・関係人口系内を隣接施設 で実施	〇定住フェア、ふるさと会でのPR
	ー C天心 ⇒多世代·地域内外で交流を実現	│○ふるさと納税制度と連携した関係
	7 2 10 20 30 17 (2000 2000	人口の拡大
交流•居場所	○趣味等のイベントと起業支援を同	 ○筒賀エリアサポート拠点整備
Z00 12 25 11	じ場所で実施	
	⇒多世代・地域内外の交流・活躍を	○拠点における生涯学習機会の提供
	促進	○森林セラピーガイド・観光ガイド等
	○まちなかで健康づくりのイベント等	の実践に繋がる学習機会提供
	を実施	
活躍・しごと	│⇒健康増進とともに交流機会を拡	【今後の展開】
	大 〇お試し居住利用者に対して、地域	○各拠点での生涯学習活動、交流
	での仕事紹介	活動の拡充を図る
	→移住・地域での活躍を促進	○森林セラピーガイド・観光ガイド養
	THE SERVICE CONTINUE CIPILE	成講座との連携を図る
		○拠点における保健・介護・福祉の
		相談・サービス提供
	○就業の場と温泉を併設	OICTを活用した健康サポートシス
	⇒健康を維持しつつ活躍・交流でき	テムの構築
	る環境を整備	 【今後の展開】
健康	〇徒歩圏内にコミュニティ拠点を整	○健康をテーマとして体操教室、料
		理教室等を拡充
	⇒外出機会を増やし、健康づくりを 促進	○ICTを活用した健康サポート事
	火 连	業を実施
		〇継続した健康に対する意識向
	 ○お試し居住住宅内に交流スペー	上を図る ○安心感を得られる住まい確保
	スを設置	○女心感を持ちれる住まい確保 ○住み替えができる環境づくり(居
	⇒地域内外の交流を実現	住の選択肢の確保)
	〇徒歩圏内にコミュニティ拠点を整	住の選択版の権法
住まい	備	 【今後の展開】
μων.	⇒外出機会を増やし、健康づくりを	【→ 後の展開】 ○空き家バンク制度の拡充、空き
	促進	一家の掘り起し
	〇お試し居住利用者に対して、地域 での仕事紹介	
	での仕事紹介 ⇒移住・地域での活躍を促進	一間の整備
	一つ19日 地名(い)自座で促進	【主な取組内容】
		【土の取組四台】 ○小・中・高校生等のボランティア
		活動、国際交流活動支援(次世
その他	<u> </u>	代のコミュニティの担い手育成)
こり担		○地元の高校生と地域住民との交
		一流拠点として、人材育成・交流セ
		ノダーを登猟(R4.4~) のナウは管理地区に関係する項目

※具体的な取組内容内の太字は筒賀地区に関係する項目

■行政における課題・認識

カテゴリー	主な内容
多世代交流、	● コロナ禍で集まる機会が急減、老若男女が世代を超えて集まれる場所の確保や、町民同志で情報交換できる仕組みづくりなどの対策が
健康増進	必要。
足脉归足	◆ 介護予防事業の充実により、疾病予防・認知症予防・寝たきりにならないための施策を展開していくことが重要。
	● 筒賀保育所内に子育て支援センターがない。
子育て支援	● 入所(園)していない乳幼児を育てている世代にとって、他地区の支援センター利用や児童センターの利用となるか、健康福祉課に直接
	行き、子育て相談支援を求めることが必要
温泉·入浴	● ひまわりの温泉、龍頭ハウスは閉鎖中。
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	● グリーンスパ筒賀の入浴割引券を交付している。
	● 空き家バンク登録家屋が少ない。(そもそも空き家が少ない)
居住、移住定住	● 9か所の町営住宅があり、子育て世帯の利用が多く満室となっている。空き家バンク登録家屋も少ない。
	● 地方への移住が活発化しているこの時期を逃すことが無い様、移住者確保に向けて速やかに住宅を整備することが必要
佐乳の土だん	● 筒賀地区内の公共施設の多くが老朽化。
施設の老朽化	● (安芸太田町役場筒賀支所、筒賀福祉センター、筒賀ふれあいプラザ、高齢者生活福祉センターひまわり)
財源	● 公共施設の統廃合や施設機能の集約化を図り、持続可能な財政運営に努めることが必要。
別派	● 職員人件費比率も高く、将来的に役場の職員数を減らしていくことも検討

■住民ワークショップ等での意向(ニーズ) (地域における課題(抜粋))

(地域における課題	主な意見
73 7 - 7	- 111/1588 - 1-1-151-151-151-151-151-151-151-151-1
	● 世代間の交流が少ない● 人の集まる所がない、気軽に集まれるところがない
世代間の交流が	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
少ない 集まるところがない	/地域内の人の交流ができない - ケヤのギにしる たいたさはない
来よることのからない	● 年齢の差による接点があまりない
	● まとまっての行事が減少している 等
	● 小·中学生が少ない(少子化) / 子どもの数が少
後継ぎやリーダー	ない
がいない	● 若い人が少なく、行事がなりたたない(高齢の方が
(若い人が少ない)	多い)
	● 後継ぎがいない/リーダーが少ない 等
	● 高齢化している・高齢者しかいない
高齢化	● 高齢者の活躍の場がない
同節で	● 高齢者の見守り/一人暮らしの方が多い、一人暮
	らしが増加等
ナマアロ/サレ キ	● 交通の便·手段がない / 交通の便が悪い
交通手段(特に高齢化に伴う)	● 車の運転ができない人の移動(免許のない方など)
町161~1十 フノ	● 歩道が悪い(段差のある波スロープ) 等
	● 買い物が難しい(商店街など)
買い物やお店	● 買い物をする場所が近くにない 買い物できる場所
	が少ない(特に生鮮食品)
子どもの遊び場が	子どもが安心して遊べる場所が少ない
ない	子どもの遊び場が少ない
	● 空き家や空地、空き農地が多い。空き家が増えた
空き家・空地	● 空き家の土地、草刈り
日ごろの整備・手	● 草刈りの場所が増えた、休耕田が増えた
入れができない	● 地域の整備の人出が少ない 等
働く場所がない	■ 職場・働く場所が少ない
医療体制	● 医療体制が弱い / 小児科がない
	● 害獣(イノシシや熊)が出て被害ある
鳥獣問題	
THE PARTY SPACE	田や畑が荒れるのが目立つようになった

(拠点)	こ求める機能)	·
	カテゴリー	主な意見
	コンセプト	● また来たいと思える気軽な施設
	多世代交流	● 子どももその親も中年も高齢者もいる施設
		● 高齢者に限らないサロン活動の場所
		● 高齢者の知恵と子どもの遊びや学びのリンク
		● 高齢者が苦手なネット操作等を教える子ども
	情報窓口 情報発信	● 色んな情報がまとまって受けられる施設
		● 交通の便(あなたくやタクシー予約含む)
	交通拠点	が良い
		● フリーマーケットや雑貨屋など何かがある
	商店·販売	● 移動販売車が立ち寄る場所(売店がなく
機		(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
能	-m-m A/. A	● 調理室·調理実習室·食堂
	調理·飲食	● ドリンクカフェ料理教室・ランチ
		● スポーツジム的な部屋 フィットネスルー
	健康·入浴	ム体操教室等
		● 浴室やシャワールーム(避難所機能を含
		む)
	憩い・休憩・広場	● 憩いのスペース(遊具・砂場・芝生広場・
		ラウンジ)
	子育て	● 乳幼児の育児エリア
	丁月〇	(衣服・オムツ替え・授乳室)
	図書·学習	● 図書室または図書コーナー
		● テレワーク室・学習室
	全体	● バリアフリーな施設や設備エレベーター等も
	土件	● 太陽熱・太陽光・薪ストーブなどエコな設備
		● Free-wifiでインターネット環境が良い
設備	DX 関連	● 他地区(集会所や公民館)とネットで繋がる
		● 昔の映像を実体験できるデジタルアーカイ
		ブや VR
		● 会議用ホワイトボード(オンライン用)・ビデ
		オカメラ

29

■全世代・全員活躍型『生涯活躍のまち』での方向性

=「誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり」

■行政における課題・認識

■住民ワークショップ等での意向(ニーズ)

上記を踏まえ

■課題に対する考え方(対策)

【多世代交流、健康増進】	● 老若男女問わず多世代が交流できる機能(拠点)が必要。(交流機能として、例えば調理・飲食、図書・学習、健康増進、地域イベントができる等)
	● 子育てに関する相談ができる窓口が必要。
【子育て支援】	● 地域で子どもを見守れたり、キッズスペースがあったりと、安心して子育てできる環境が必要。高齢者との交流によっては、子守りや遊びを学ぶことも可
	能。
	● 現在はグリーンスパつつがが機能しているが、健康浴場が廃止されたた
【温泉·入浴】	め、今後の地域内外の集客・交流等を見込み、新たな温泉・入浴機能の位
	置づけが必要。
【居住·移住定住】	● 移住定住のニーズもあり、新たな定住住宅等の建設も予定していることか
	ら、それらの位置づけについての調整・検討も必要。
	● 公共施設は更新・改修時期を迎えており、施設毎の維持・更新費用も高額
【施設の老朽化(財源)】	となる。
	更新・整備にあたっては、施設や機能の集約等の検討も必要。
【医療の面】	● 安芸太田病院を軸として、対応を検討。既に実施している出張診療等が受
【広僚の組】	けられる環境を整えておくことが必要。
【交通の面】	● 公共交通や拠点へのアクセスに関しては、公共交通計画等にて対応を検
	討。
	● 拠点として位置づける場合は、交通の結節点や交通拠点としての位置づ
	けを設定するなどの検討が必要。

(まとめ)

- 行政機能に加え、地区内を中心(地域外も含む)に多世代が交流でき、健康増進や子育て等、生きがい づくりにつながる施設整備が必要
- 公共施設の老朽化が進行していることから、施設機能を集約する等して効率的な財政運営に寄与できる対応が必要
- 交通やアクセス面への配慮、安全安心という視点で、避難所機能の強化等も求められる

4 基本構想

4-1 将来像、方向性(基本方針)

3 筒賀拠点を考える上での課題における「課題に対する考え方(対策)」の内容を踏まえ、拠点施設のコンセプト、施設整備の基本方針、拠点整備におけるポイントを整理する。

■拠点施設のコンセプト

「また来たい」と思える気軽な施設

多様な世代が集まり交流できる、居心地の良い活動の拠点(地区の暮らしの窓口)

■施設整備の基本方針

- 気軽に立ち寄れて、日常的に居心地よく使われる施設として、広場や飲食機能、温泉機能等を確保
- 分散化している公共施設の機能集約や強化を図り、乳幼児からお年寄りまでが利用できる施設
- 拠点として、非常時でも行政機能と防災対応が密接となるよう、防災・広域避難施設機能を保持
- 地域の交通結節点の役割を担う施設として、バス停やロータリーを含めた広い駐車場を確保

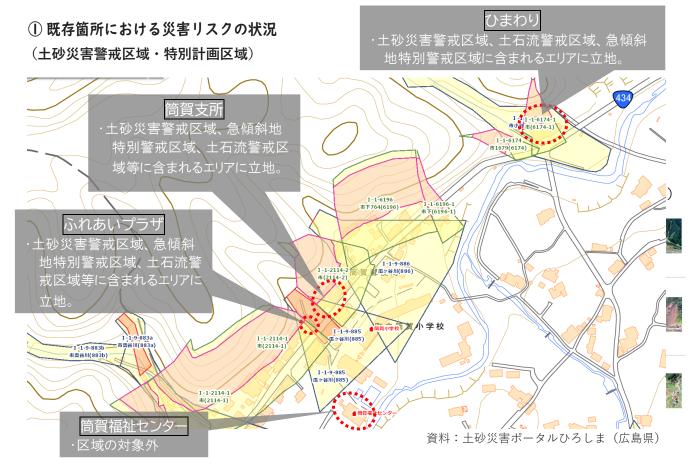
■拠点整備におけるポイント

- 施設の利便性の増進や機能の効率化が必要 ⇒ 施設や機能の"集約化"が望ましい
- 施設の整備・運営の面で、"公民連携"の視点を踏まえた検討が必要
- 施設機能の複合化や高層階とした場合の上階層等の活用の検討が必要

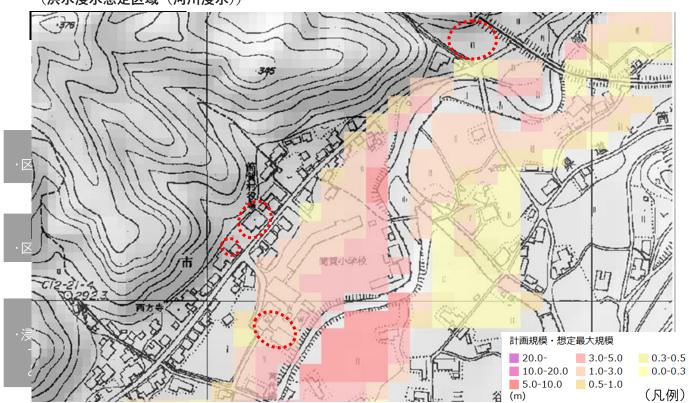
4-2 立地条件

(1) 立地における災害リスク (防災的な視点)

既存主要施設及び新規建設検討予定地における立地状況や災害ハザードの状況を整理する。

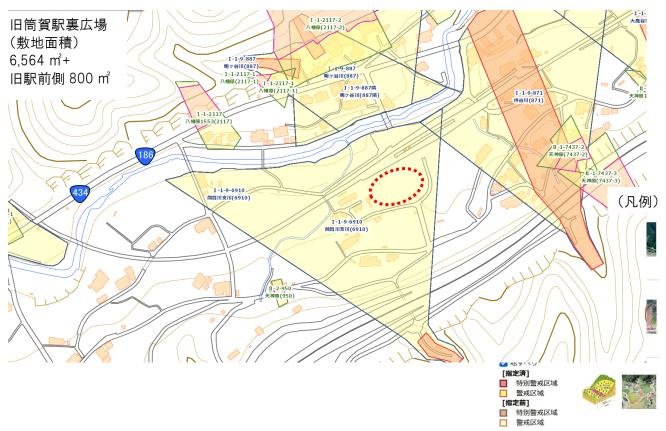


(洪水浸水想定区域 (河川浸水))



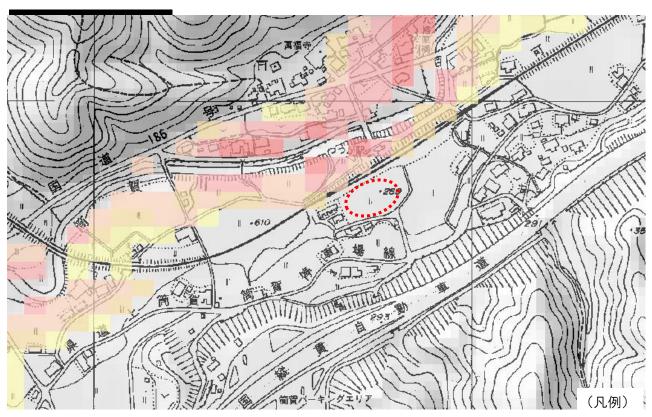
② 新規建設検討予定地における災害リスクの状況

(土砂災害警戒区域・特別計画区域)



資料:土砂災害ポータルひろしま (広島県)

(洪水浸水想定区域 (河川浸水))



資料:土砂災害ポータルひろしま (広島県)

(2) 比較表

(1) 立地における災害リスク(防災的な視点)の内容を踏まえ、対象の敷地に関して、敷地面積、災害リスクの視点で比較を行い、判定を実施した。

敷地		筒賀福祉センター周辺 (既存)	高齢者生活福祉センター (既存)	旧筒賀駅裏広場 (新規)
場所		施設までのアプローチとして高低差在り小学校のプール・小学校・体育館などが隣接	施設の向かい側に駐車場あり・すごそばに交差点(信号機)あり	● 周囲に町営住宅が立地
敷地	面積	1,129 ㎡ +(駐車場 2,447 ㎡)	▲ 1,954 ㎡ +(駐車場 1,021 ㎡) ×	6,564 ㎡ +旧駅前側 800 ㎡
災害リスク	土砂災 害警域 別計 区域	● 区域に含まれていないが、周辺のふれあいセンターは、土砂災害警戒区域、急傾斜地特別警戒区域等に含まれるエリアに立地しており、筒賀支所も土砂災害警戒区域、土石流警戒区域、土石流警戒区域に含まれるエリアに立地している。	● 土砂災害警戒区域、土 石流警戒区域、急傾斜 地特別警戒区域に含ま れるエリアに立地。	● 土砂災害警戒区域に含まれるエリアに立地
	洪水浸	△ ·浸水想定(想定最大)にお	× ・ 区域の対象外となっている が、 浸水相中(相中県土)に	<u>△</u> ·区域に含まれていない。
	水想定 区 域	いて、「1.0~3.0m」浸水する と予測されている。 	が、浸水想定(想定最大)に おいて、前面道路は浸水する と予測されている。	
	(河川浸水)	×	Δ	0
	判定	×	×	0
判定		● 直接的に土砂災害にエリアに含まれていないが、周囲が災害エリアに含まれていることから、災害にアプローチの道路が塞がるなどの影響を受ける可能性がある。 ● 周辺に様々な施設が立地しているため、施設の活用の仕方よっては連携できる可能性はあるが、検討が必要。	● 面積、災害面を踏まえると、有効活用することに関しては、十分な検討が必要。	土砂災害のイエローの 区域に含まれているが、 敷地の広さ等、活用の 可能性の自由度は高い
		Δ	Δ	0

(3) 機能の概念

既存機能の配置状況と整備後の機能配置について、以下で整理を行った。

(既存の機能配置)



(整備後の機能配置案)



- 現状は各施設・機能が分散しており、利用の目的によっては、各施設を巡らないと対応が難しい面がある。また、災害リスクの可能性や施設の老朽化等の安全面で不安がある。
- それらの状況を踏まえ、新規の敷地に各機能を集約することで、来訪者等の利便性を向上させるとともに、行政及び社協等の事務機能の強化、地域内外等との多世代交流の充実を見込む機能を設け、効率性を強化する。
- 既存施設の今後の利用についても検討を行う。

4-3 機能、使い方

(1) 各機能と面積

筒賀拠点を考える上での課題や拠点施設の方向性等を踏まえて、拠点施設に盛り込むべき機能及び面積を整理した。

機	能	概要	必要面積(m²)	
■建物				
	多目的ルーム およびホール	・体操教室やサロン、ヨガやダンス教室、イベント等の活用 ・広域避難所として 100 人程度の収容を可能とする	220	
	図書・学習室	・絵本の読み聞かせ等の子育て支援の場、子ども の自主学習の場として整備する	50	
	交流・談話・	・バス等の待合空間 ・高齢者や子供たちなどの多世代が交流や会話を 楽しめる場	150	
多世代交流機能	調理場・キッチン (飲食調理 スペース)	・地域産品を活用した飲食提供、イベント時の活用などを想定	50	
	カフェ・売店	簡易に設置することを想定した上で面積を想定	20	
	トイレ	各階に整備(男・女・バリアフリー) 【40 ㎡】	40	
	キッズスペース	室内遊具、授乳室	30	
	温泉・銭湯	合計	320	
	浴室	浴室、洗い場、更衣室	200	
	トイレ	風呂場内設置	40	
	機械室等		80	
面積小計			880	
	支所執務室	支所執務室 10 人程度の勤務を想定 応接スペース・更衣室を含む (現在:窓口2名、支所長1名、他3名)	60	
	相談室	相談室 10 ㎡×2	20	
夕 徒 行 功 灾 口 。	倉庫	業務拡充のため	20	
各種行政窓口・ 相談機能等	給湯室	現在の機能を踏襲	10	
THE POST OF	小会議室	小会議室(約 10 人 15 ㎡)× 2	30	
	倉庫	物品等保管場所として整備する 【20 ㎡】	20	
	社会福祉協議会執務スペース	社会福祉協議会の窓口、事務室(50 ㎡ 【5名程度の勤務想定】) ※相談室は支所と兼用	50	
面積小計			210	
面積合計 1				

機能		概要		
■屋外				
医療・	屋外倉庫	同等規模として整備(車庫は廃止し、公用車は屋外駐車)	120	
防災・減災機能	防災備蓄倉庫	物資等の保管 5m×5m程度	25	
交通結節点	バス停留所	交通結節点	_	
多世代交流機能	広場	子育て・健康づくり、イベント開催の場	_	
		最低 70 台程度が望ましい(※イベント等、様々な用途での活		
共通	共通	用や利用を想定)(H22 年度地方債同意等基準運用要綱より	1,750	
六地	紅半物	1 台 25 ㎡ (通路等含む)) ※面積は整備する敷地によって異	1,750	
		なる		
面積合計			1,895	

(建築規模の検討)

- P31 の拠点整備におけるポイントにて「施設機能の複合化や高層階とした場合の上階層等の 活用の検討が必要」とあるように、建物の項目に記載している機能に加えて、例えば、定住 住宅等を上層階に位置付ける場合は、面積の変動が生じる可能性がある。
- また、機能の複合化等を行っていくにあたっては、民間事業者参入可能性意向調査(サウンディング調査)を実施し、事業採算性や実現性の可否を民間事業者等に確認することも必要である。

(2) 各機能に対する使い方と提供サービス

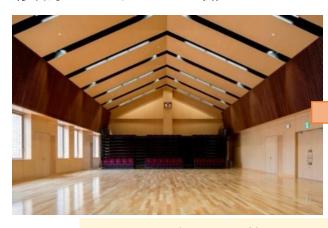
拠点施設に盛り込む機能に対して想定される使い方と提供サービス、主に利用が想定される活動や団体を整理した。

機能			想定される使い方	想定される提供サービス	主に利用が想定される活動や団体
		多目的ルーム およびホール	・会合や講演会等の利用 ・体操教室やサロンとしての活用 ・ヨガ、ダンス教室、イベント等で活用 ・災害時の避難場所 ・屋内での地域行事での利用 等	・イベントの規模に応じて、スペースのレンタルが可能 ・多世代の交流、地域行事の行うことが可能(予約制等) 貸館サービス	体操教室 ダンス・ヨガ教室
	多世代	交流・談話・ 待合スペース	・バス待ちとしての利用 ・乳幼児と保護者が集えたり、子育で情報を共有したりできる ・高齢者から懐かしい遊びを学べる ・高齢者が子ども達からタブレットやスマホの操作を学ぶ ・出張診療等が落ち着いて受けられる(パーティション等仕切りを設ける等) 等	・交流・談話がしやすい環境があり、休憩所としての役割も担う ・地域行事等でも利用が可能 ・出張診療等が落ち着いて受けられる(多目的ルームと連動) 貸館サービス	高齢者サロン活動 等
		カフェ・売店	・地域の日用品の販売(地域の野菜の販売、手芸等の販売等) ・周辺施設(道の駅等と連動した展開) ・交流・談話・待合スペース機能との連携	・地域産品や日常品の購入が可能(売りたい商品がある方は相談の上対応) ・各施設と morica 等との連携 貸館サービス 販売・出店サービス	地域内での利用
	交流機能	調理場・キッチン (飲食調理スペース)	・簡単な調理などで活用(例:子どもキッチン・高齢者から学ぶ郷土料理など) ・屋外イベント等を行う際の利用	・スペースの利用や調理器具等の貸出が可能 ・予約制 等 貸館サービス	イベント時での利用
建物		温泉・銭湯	・地域内外の人達との交流・休憩の場 ・筒賀にある 2 種類の温泉を楽しめる ・町内の温泉と連携(湯めぐり) ・カフェ・売店機能との連携	・入浴施設の提供 等	地域内外での利用
173		図書・学習室	・子供たちが自由に勉強や読書できる ・郷土資料や図書等の格納場所、展示等 ・テレワーク、オンライン会議等の利用	・図書館司書が常駐しており、キッズスペース等の見守り可能 ・図書等の自由な閲覧、貸出が可能 ・学習や勉強スペースの利用が可能	子ども(勉強での利用) 大人(テレワーク等)等
		キッズスペース	・子どもを安心して遊ばせられる(見守れる) ・親同士の交流	・テレワーク、オンライン会議での利用も可能等貸館サービス	子育て世代の利用
		トイレ	_		共通
		支所執務室	・住民等の様々な申請・予約等への対応窓口 ・日ごろの公務等を行える環境(オフィス)		
		相談室	・住民の相談等に対応	・暮らし全般(福祉、子育てや雇用等も含む)の申請や相談対応が可能	
		倉庫	・書類等の格納場所	・支所に寄って、買い物や休憩、交流等を行える	
	各種行政窓口・	給湯室	・職員等の日常利用	・DX やICT等によるサービスを受けることが可能 ・支所と社協で連携したサービス対応が可能	11政職員、 社会福祉協議会の職員
	相談機能等	小会議室	・職員の日常利用(打ち合わせ等)	等	等
		倉庫	・書類等の格納場所(小会議室と連動)	8000000000000000000000000000000000000	
		▲ 社会福祉協議会 執務スペース	・日ごろの業務等を行える環境(オフィス)・事業全般に関する窓口等		
	医療・ 防災・減災機能	屋外倉庫 防災備蓄倉庫	・備蓄品等を格納できる倉庫があり、緊急時に対応できる役割を担う	·災害等の緊急時等への対応が可能 等	_
屋外	交通結節点	バス停留所	・乗り合いの集合場所 ・交流・談話・待合スペースと連動	・時刻表や地域内の情報の掲示・あなたく等の停車場・公共交通の利用が可能等	_
外	多世代 交流機能	広場	・地域行事やイベントでの利用 ・キッチンカー等の出店	・予約制で、地域行事やイベント時等にも利用可能等	青空マルシェ販売、 共同出店・フリーマーケット 子育て世代イベント
	共通	駐車場	・駐車利用がメイン ・広場と連動した活用	・最低 70 台程度の利用の見込み ・広場と連動した活用も想定 等	_

(3) 各機能のイメージ

① 建物:多世代交流機能

(多目的ルームおよびホールの例)





200 人まで対応可。269 ㎡(20.7m×13m)収納時の移動観覧席部分39 ㎡を含む。 移動観覧席を出した状態での残りの床部分は113 ㎡

出典:パレットごうつ HP

(調理場 キッチン)



キッチンスタジオ 93 ㎡

出典:パレットごうつ HP

(キッズスペース)



オープンスペースに併設

出典:つくば市 HP

(図書・学習室)



コワーキングスペース (中野市)

学習室 (高梁市)

出典:高梁市図書館 HP

38

出典:中野市 HP

(温泉・銭湯)



月ヶ瀬温泉(休憩所込み)180 ㎡

出典:あきおおたから HP

② 建物:各種行政窓口相談機能等

(支所執務室 (窓口の例))





執務スペースの脇机を撤去し、ミーティングスペースを確保

出典:西予市 HP

(各種会議スペースの例)



個別相談・プライバシー配慮(西予市)



会議研修室 111 ㎡、57 人(江津市)



会議室 (西予市)



会議研修室(和室)21畳、32人(江津市)

出典:ごうつパレット HP、西予市 HP

③ 屋外機能

(広場:多世代交流機能)





出典:富岡市

4-4 概算事業費

既存施設を改修した場合と新築した場合での概算事業費の比較を行った。

整備区分	改修	新築
活用する施設	筒賀福祉センター(竣工年度:昭和 56 年・	構造 鉄筋コンクリート造 複数階建て(地下含む)
	築 41 年) 株 4: 4: 4: 4: 5: 5: 5: 5: 5: 5: 5: 5: 5: 5: 5: 5: 5:	内壁は木製木壁が望ましい
	│ 構造:鉄筋コンクリート造 2階建て 耐用年 │ 数 50 年	
所在地	大字中筒賀字市沖 2802-5	大字中筒賀字東 1379-1
土地·建物所有	町有地 3,576 m²(町有財産)	町有地 6,564 m²(町有財産)
収容人員· 面積	延床面積 1,091.54 ㎡	'延床面積 1,120 ㎡
施設内容	社協事務所/和室3/会議室2/調理室 大広間	先述の通り
	<u> </u>	
	社協事務所/浴室2/多目的室/会議室	
	調理室/多目的ホール/筒賀支所事務所/その他	
 改修課題等	/ ての他 ・耐震診断(結果に基づく耐震補強含む)・	
	電気関係	
	・空調設備・屋外エレベーター増設・入浴 施設増設	
	・給湯ボイラー設備増設・調理機器更新	
	(縮小含む)	
	・その他長寿命化及び部屋区画壁の見直しなど	
改修費	耐震工事費(診断・見込含む) 64,610 千円	新築工事費 647,331 千円
整備費等	施設改修工事費(EV含む) 505,159 千円 温泉導水費(ひまわりより) 76,675 千円	(造成、外構工事を含む) 実施設計・施工監理費 45,000 千円
(概算) ※消費税込み	実施設計・施工監理費 37,500 千円	温泉導水費(ひまわりより) 7,200千円
次// 真忧 心 //	温泉設備改修費 35,000 千円 16,500 千円 16,500 千円	施設備品購入費 16,500 千円
	施設備品購入費	合 計 716,031 千円
メリット	◎既存の広い駐車場がある	◎施設の機能が一箇所に集約化され、来訪者
	┃◎土砂災害警戒区域外にある。	の利便性が上がる。 ◎広い敷地で見晴らしが良い立地。
		◎筒賀川の浸水区域外である。
		◎高層階とした場合の上層階に住宅部分として
		の利用が追加で建設可能となる。(PFI参入として)
		◎新築なので、各部屋の動線やレイアウトなど、
→ //	▲母電シ町の仕田中家によって工事悪が言	自由度がある。
デメリット	★耐震診断の結果内容によって工事費が高額になる	★周辺地域住民の理解 ★高層階の建物となる場合は日照権(特に水
	★既存の壁面を壊さない場合は、既存部屋	田)を脅かす可能性あり
	割面積を継承した構造になりがちである。 ★現在の入浴施設は1箇所であり、男女の区	★地質・地盤調査(基礎工事関係)を要する。 ★国道186号線には面していない。
	分が必要で防水処理の基礎改修が必要。	★土砂災害警戒区域ではある。(筒賀PAの谷)
	ボイラー機器や給湯配管は新設となる。	
	★躯体その物が変わらないため、内壁を可能 な範囲で崩したとしても、部屋区分等の自	
	由度に欠ける。	
	★増築しないと必要面積の確保として追加で *****	
	きない。 ★筒賀川の浸水区域内である。	
判定	Δ	0
	高額な耐震工事費や立地状況等の安全性	新築になることで自由度が高くなり、機能の集約
	の面から不安が残る。	化が可能。安全性のあるエリアでの建設が望ま
		れる。

5 構想の実現に向けて

5-| 運営方法の検討

拠点施設の事業手法について、以下に整理する。

[事業手法]

	公設公営	公設民営	民設民営
	直営方式 (一部業務委託含む)	管理運営委託 (指定管理者方式)	PFI 方式
設置主体	公共	公共	民間
運営主体	公共 (一部業務民間)	民間	民間
利点	・ 管理運営責任が明確で、信頼性・継続性が高い。 ・ 行政目的に沿った管理運営を行いやすい。	・民間事業者のノウハウを活用し、サービスの質が上がり、コストが下がる可能性が高い。 ・利用料金制による利用促進で収入増加(経費削減)も期待できる。	・ PFI 方式の場合、民間のノウハウ・資金を活用できるとともに、初期投資額を平準化できる。
問題	・ 人件費が割高。 ・ 柔軟な雇用形態は難しく、 施設運営のノウハウも少な いので、事業拡大による収 益確保は困難。	・長期的展望に立った継続的な取組や安定経営が困難。 ・ノウハウが蓄積・継続しないリスクがある。	・ PFI 方式の場合、事業の手続が煩雑であり、施設供用までの期間や事務コストがかかる。 施設規模が小さいと、VFM が出にくい。
備考	・ 非常勤職員等の活用でコストの削減も可能。	仕様書によってサービス内容 等をある程度コントロールす ることは可能。	_

5-2 事業スケジュール

筒賀地域拠点の整備において、事業スケジュールを整理する。

民間事業者参入可能性意向調査を実施した際に、事業者の意向によって、スケジュールは変動する 可能性がある。

[事業スケジュール(案) 民間事業者参入可能性がある場合]

		事前 調整	1年目		2年目	3年目	4年目	5年目
民間事業者参入可能性意向調査(サウンディング調査)		,	事業	 者の意	前によって	 	 	あり
基本設計·実施設計								
施設設計	運営方法の検討							
	現地測量							
	地質調査等							
施設工事(造成)								供用開始
施設工事(建物等)								六円 刊名

6 資料編

(1) 策定委員会

① 委員名簿

(敬称略、役職・五十音順)

所属団体及び役職等	氏名	役職				
自治振興連絡協議会 筒賀支部長 東区振興会長	森田 公明	会長				
内藤企画 代表	内藤 光正	副会長				
自治振興連絡協議会 筒賀副支部長 本郷親和会長	一ノ瀬 泰典	委員				
安芸太田町女性連合会 会長 筒賀女性会 代表	宮本 美智子	委員				
JOCA	横山 亮	委員				
木下商会	小田 篤	委員				
IemIri 代表	庭田 絵美里	委員				
安芸太田町体育協会	小笠原 晋	委員				
(株)MARE	庭田 功二	委員				
公募による委員	伊藤 俊昭	委員				
町職員関係者	<u> </u>					
安芸太田町 町長	橋本 博明					
″ 副町長	小野 直敏					
〃 企画課長	二見 重幸					
// 筒賀支所長	片山 豊和	事務局				
// 課長補佐	山本 博子	事務局				
計画策定に係るコンサルタント						
ランドブレイン株式会社 広島事務所 所長	八木 周吾					
<i>"</i> 主任	三木 脩平					

筒賀拠点整備基本構想(案)

令和 5 (2023) 年 3 月 発 行:安芸太田町

編 集:安芸太田町役場 筒賀支所

〒731-3702 広島県山県郡安芸太田町大字中筒賀 1693-1

TEL: 0826-32-2121 FAX: 0826-32-2037